

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2733	せらび小金井	(株)日本ケアリンク	H28.2.12
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人 福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	C	B	2.3.4	A	A	6.2.1	B	A
1.1.2	B	B	2.3.5	A	B	6.2.2	A	A
1.1.3	B	C	2.3.6	B	C	6.2.3	A	A
1.1.4	B	B	2.3.7	C	C	6.2.4	B	A
1.2.1	B	B	2.3.8	C	非	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	C	B	2.3.11	A	A	6.2.8	B	A
1.3.2	A	A	2.4.1	B	B	6.2.9	A	A
1.3.3	B	A	2.4.2	C	B	6.3.1	B	B
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	B	A
1.4.2	A	A	2.4.4	B	B	6.3.3	A	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	A	2.4.6	B	B	7.1.2	A	A
1.4.5	B	A	3.1.1	A	A	7.2.1	B	A
1.4.6	C	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	B	A	3.1.3	A	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	C	B	3.1.5	非	非	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	B	A
1.5.3	C	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	B	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	B	4.1.2	C	C	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	B	A	7.5.1	B	A
2.2.3	非	A	4.2.1	C	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	B	A	7.5.3	A	A
2.2.5	C	B	5.1.1	A	A	7.5.4	C	A
2.2.6	C	A	5.1.2	B	A	7.5.5	B	B
2.2.7	A	A	5.2.1	B	A	7.5.6	B	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	B	A
2.2.9	非	非	5.2.3	B	A	7.6.1	A	A
2.2.10	非	非	5.2.4	B	A	7.6.2	B	A
2.2.11	A	A	5.2.5	B	A	7.6.3	B	A
2.3.1	B	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	B	A			
2.3.3	C	A	6.1.3	C	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-4-3	事故発生時の対応、事故防止のための各種マニュアルに加え「緊急時の処置の流れ」「夜間救急マニュアル」等の手順書を用意し、事故発生時に備えている。さらに、発生した事故、事故発生が予測できる事象は、事故報告・ヒヤリハット報告により記録する他、「リスクマネジメント委員会月報」で本社へ報告し、本社のリスクマネジメント委員会と一体となって事故防止に取り組んでいる。
2-3-1	訪問調査時において、要介護の入居者1.5名に介護・看護職員1名が配置され、手厚い介護体制がとられている。新しいホームであり、入職後勤続期間が少ない職員が多いが、研修を通して基本理念を学び、入居者へ丁寧な対応を心掛けている。ホームとしても、入居者それぞれの個性をいかした介護に力を入れており、手厚い人員配置と研修等による職員一人ひとりの介護力の向上により実現がもたれる。
3-1-6	機能訓練や自立支援の観点の専用施設として1階に広々とした機能訓練室があり、さくら体操・せらばん体操・音楽療法などに利用している。ここは、3面とも床までガラスの大きな窓に囲まれたスペースの一角にあり、外部に対して開放的で透明性が高い作りとなっている。さらに、長い廊下が建物の中心部にあり、たくさん歩くなど入居者の生活機能の維持・向上にも活用できる。今後、共有施設を使ったさらなる取り組みが期待できる。
5-1-1	食事は、厨房で専任の調理師が調理しており、旬の食材を使用し、季節感のあるものを提供する他、毎朝、和食・洋食の選択メニューとなっている。和食以外に洋食・中華を取り入れ、麺類・丼もの・カレーが1週間に一度食卓に上るなどバリエーションに富んだメニューが提供されている。また、おせち料理やひな祭りなどの行事食や毎月20日に地方色豊かなお弁当を取り入れるなど、入居者が食事を楽しめる工夫がなされている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-1-3	遵法にかかわる「コンプライアンス規程」「コンプライアンスマニュアル」等があり、新人研修においても、コンプライアンスや個人情報保護等をテーマにして職員の遵法意識を高めている。しかし、消費者への適切な情報提供や、消費者保護に関する法令の遵守等を定めた自主行動基準は策定されていない。今後は、自主行動基準の策定を行い、消費者全般に向けた法令遵守について、その趣旨の徹底を図りたい。
2-3-6	ホームの運営状況に関する報告は、運営懇談会において報告され入居者に文書をもって周知されている。しかしながら、運営懇談会欠席の入居者や家族には結果が報告されておらず、定期的な文書配布もなされていない。入居者のみならず、見学希望者等も含めて、より広い範囲に運営状況を開示し、その経営面の透明性をアピールすることが望まれる。
2-3-7	介護保険指定事業については、他の会計と区分して表示することが義務付けられている。ホームの会計については、拠点ごとに区分され、事業収入・事業支出・事業損益が表示されている。しかしながら、介護保険指定事業と他の事業の区分は行われておらず、それぞれの収入・支出・損益の区分が必要となる。会計区分の明確化とその結果をホームページ掲載等により公表されることを期待したい。
7-5-5	理学療法士と看護師が配置されていて、機能訓練にあたっており、さくら体操・散歩などを実施し、日常のアクティビティにADL向上のメニューを取り入れている。現在、入居者個別の機能訓練計画書は作成されていない。今後は、機能維持向上のために、入居者一人ひとり個別の機能訓練計画書を作成し、広々とした機能訓練室や長い廊下などの設備をいかし、機能訓練の充実を図ることが望まれる。